

教材名 **かんたん和音Ⅱ**

〈教材のねらい・使い方〉

- ・ 補助具の板を押すと複数の鍵盤が同時に押さえられ、和音を鳴らすことができる。補助具の高さを変えると、異なる種類の和音を鳴らすことができる。
- ・ 学習の始まりと終わりを意識できるように、修礼の『ドミソ』『シレソ』の和音を出せる二種類の板をセットして使用している。
- ・ 以前より一回り小さなキーボードを準備することで持ち歩きやすくなり、ベッドサイド学習等様々な学習場面において使用しやすくなった。
- ・ マジックテープで補助具の板を脱着できるようにしたことで、通常のキーボードとしても使用できるようになった（「かんたん和音Ⅰ」は両面テープで固定していた）。



材料及び作成の工夫等

〈材料〉

- ・ 段ボール～鍵盤の幅に合わせてカットし、数枚を重ねて高さを調整する（2種類の高さのものを作る）。また押したい鍵盤をつなぐ幅にカットした板を上部に貼り、押しやすく和音が出るよう位置を調整する。
- ・ 段ボールはボンドまたは両面テープで貼り合わせる。鍵盤と段ボールはマジックテープで固定する。
- ・ 色付きガムテープや滑り止めシートを貼って上面の板の色を変え、押し際に区別できるようにする。

〈作成の工夫〉

- ・ 押したときに鍵盤に均等に力が掛けられるように、上面の板の中央（押す場所）にシールを貼る。
- ・ マジックテープで補助具の板を脱着できるようにしたことで、通常のキーボードとしても使用できるようになった（「かんたん和音Ⅰ」は両面テープで固定していた）。

題材名と児童生徒の使用している様子等

〈自立活動 「朝の会」「個別学習」〉

**学習の流れ**

- 1 始まりの合図**
- 2 学習活動**
- 3 終わりの合図**



朝の会の始まりの合図



ベッドでの始まりの合図

- ・ 教師と一緒にキーボードを押して始まりの合図の和音を聞くと、聞き耳を立てて音に集中する様子が見られた。毎日繰り返すことで、学習の始まりや終わりを意識して学習に取り組むことができるようになってきた。